

書ごころ、絵ごころ 同じ「かきもの」でも味わいが違います！

月に2回の恒例となっています、桜井先生による書道教室。今回は桜井先生が腕に備える「絵手紙」の指導を仰がせていただきました。題材は「りんご」と「バナナ」「茄子」「サツマイモ」。よく見て、大きく、元気よく！の合図で、各々のデッサンが始まる。書道の時もそうでしたね。「幼少のころ以来で・・・、描けるかなあ？」の決まり文句も、題材に向き合う真剣な眼差しでいつしか張りつめた空気に一変。それぞれの描き方あり。それぞれの色使いあり。みんな、それぞれの絵になるから面白い。できた絵に添える言葉にも味がありますよ！日頃の気持ちを絵や言葉に表す。これぞ「絵手紙」の醍醐味ですね！

